

革新的がん医療実用化研究事業 (AMED)

日本人 *BRCA* 未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究

「乳癌未発症日本人 *BRCA2* 遺伝子変異陽性者に対する タモキシフェン予防の有効性の検討：Pre-TAM01」

対象：*BRCA2* 変異陽性乳癌未発症女性 20–70歳

期間：エントリーより3年間

研究デザイン：多施設共同、単群、前向き試験

目標症例：210例

主要評価項目：タモキシフェン投与（10mg/日）3年間の乳癌発症割合

- ★ 低用量タモキシフェン（10mg）による乳癌発症予防効果と安全性評価
- ★ 乳房MRI検診（1回/年）による早期乳癌発見の有用性の検討
- ★ リキッドバイオプシーによる早期乳癌発見の有用性の検討

がん研有明病院・慶應義塾大学病院
国立国際医療センター・聖路加国際病院
昭和大学病院



お問い合わせ：昭和大学乳腺外科 垂野（たるの）
ktaruno@med.showa-u.ac.jp